

第26号

本小の教育「授業改善研」

3年初任

◎本小授業改善「主体的・対話的な深い学び」

今回は、3学年・道徳で、初任者授業を「花城 順子」先生が行います。最初は「ルーキー」でとても心配であった「学級経営」や「授業づくり」ですが、今では「心に余裕」と「落ち着き」があり、子供達との関係性も雰囲気も随分と良い感じがします。本時の学習は道徳で、

1. 主題名 わたしのいいところ (A. 主として自分自身に関すること 『個性の伸張』)
 2. 題材名 お母さんの「ふふふ」 出典(『小学どうとく 生きる力』 日本文教出版)
- さあ、3年2組と順子先生との「ふふふ」を、楽しみに授業づくり検討会をはじめましょう。

■ 3年2組 (道) 「花城 順子」先生 3校時目 [初任授業]



【児童の手(学習規律)】



- 「子ども達の学習規律」面の関わり
- 「鐘」が鳴ってる間の「黙想」が Good !!
 - 「始業の挨拶」も定着している。良い所。
 - 「授業に意欲的」である。挙手とハイハイ
 - 「発言力」ある数名の児童が授業をリード
 - 「考える」「判断」「発言」言語活動に難有
 - 「児童の実態調査」の中から、次の結果
 - 「①自分の良い所を知っている」(54%)
 - 「②友達の良い所を知っている」(73%)
 - 「自分の良所」(15個ほど列挙されている)
 - 「友達の良所」(20個ほど列挙されている)



【教室の色(支持的風土づくり)】



- 「授業の流れ」(本時の展開)より
- 「鐘」が鳴ると、正座・良い姿勢(黙想)
 - 「始業の挨拶」これも又「良い所」である
 - 【導入】
 - 01 自分の良い所を思い浮かべてみよう。
 - 【展開】
 - 02 教材を読んで、考え、話し合おう。
 - 03 加藤さんが良い所見つけに出てこない
 - 04 加藤さんの良い所見つけをする「私」
 - 05 加藤さんに「嬉しい」と云われた「私」
 - 06 お母さんの「ふふふ」を聞いて、……
 - 07 中心発問:「誰にも必ず良い所がある。自分の良い所は何か考えてみましょう」
 - 08 友達の良い所を見つけてあげましょう。
 - 【終末】学習内容の振り返り
 - 09 これまでの自分、この授業を通して、これからの自分について考えてみよう。
 - 10 担任から各個人宛に、一人一人の良さを記した「メッセージカード」を配布。

■担任からの「カード」配布が、本時一番盛り上がった瞬間であった。ワ〜イ! スゴイ!



- 「アドバイス」としては、
- 「アンケート」結果は、教室掲示しておく。
 - 「学活で」、自己理解や他者理解をリンク
 - 「学習班」、教え合いなど協力関係を構築
 - 「生活班」、係や当番、清掃など協力させて
 - 「朝の会」、挨拶チャンピオンなど発表させ
 - 「帰りの会」、頑張った人、称賛タイムなど
 - 「道徳時」補充・深化・統合を図る【計画的】
 - 「道徳内容項目」現代的、社会的課題へ対応
 - 「教師の」、思いを伝え、関係性を密にする
 - 「保護者」、連携とは、授業等に関わらせる

【教師の眼(教師の姿勢)】



- 「教師の指導」手立て、秘密兵器等
- 【良かった所】
- 「授業始め」-「鐘が鳴ると『黙想』定着感」
 - 「『黙想』を終え、授業開始の挨拶が良い」
 - 「教師による範読」-「声、声量、声質、良」
 - 「秘密兵器」-「担任から各個へメッセージ」
 - 「落ち着いた授業展開」準備が良く出来てる
- 【改善 or 検討】
- 「数名の児童が教師の質問に直ぐ答えている」
 - 「児童の発言の途中、話を折り、次の質問へ」
 - 「班での話し合い」をする際に、一工夫必要」



【感想】 「組織的・意図的」に、【補充・深化・統合】を図る…。 「実践意欲と態度」に、つなげる!

- 「道徳科は、考えさせる、そして「Before」「After」が大切。変容のキッカケが「中心発問」なら Good」
- 「気づかない子供が多い現代。気づかせて、心情豊かに、道徳的な判断をし、実践意欲と態度を育てる事」
- 「道徳の1時間では無理。学級活動、学級生活、当番活動、係活動などを通して、培い、育てものである」
- 「秘密兵器に「先生からのメッセージ」があった。 Good! 親からのメッセージや手紙でも有効である」
- 「発言力ある数名の子供達中心に授業が進められている。学習規律で発言のルール、他者への思いやりも」
- 「中心発問は、子供のこれまでの考えを深化させるため。発問内容と考える時間と、より良い判断が大切」
- 「いじめ防止、安全の確保、情報モラル、SDGs など、現代的・社会的課題への対応として、道徳は取組」



校長より

